

## 評価シート 様式

取組名	「富士山の世界遺産」官民協働広域連携事業		
実施団体名	富士河口湖地域活性化推進協議会	対象地域	山梨県南都留郡富士河口湖町
(代表団体名)	富士河口湖町	推薦団体名	

① 実施 状況	<p>提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか</p> <p><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。</p> <p>(備考・特記事項)</p> <p>契約時期の関係から、当初予定していた時期(季節)での実施が出来ない取組があった。</p>	② 実施 体制	<p>平成20年度に行われた取組の実施体制について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。</p> <p>(備考・特記事項)</p>
	<p>平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について</p> <p><input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。</p> <p>(備考・特記事項)</p>		<p>④ 継続 展開 の見 込み</p> <p>平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。</p> <p>(備考・特記事項)</p>
③ 効果			

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	「富士山の世界遺産」官民協働広域連携事業		
実施団体名	富士河口湖地域活性化推進協議会	対象地域	山梨県南都留郡富士河口湖町
(代表団体名)	富士河口湖町	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)

本取組は、環境保全、産業育成等の地域活性化に資する取組を富士山の世界遺産登録に向けた取組に併せて一体的に展開する点で地域への波及効果と相乗効果を持ち得るものである。

本年度の取組において、BDF活用の実証実験やパンフレット・DVDによるPR等を実施したことにより、世界文化遺産登録に向けた地元住民等への啓発に効果があったと評価される。

当初予定していた取組はおおむね実施され、地方の元気再生事業による効果は発現しており、今後は、地方の元気再生事業の支援によらず、世界遺産にふさわしい付加価値を有する商品を開発する上で解決すべき課題に地域が主体となって本格的に取り組むことが期待される。